

委員各位

第361回産業事情検討会のご案内

第361回の産業事情検討会を下記の通り開催致しますので、ご出席下さいますようお願い申し上げます。なお、出席の有無を同封の葉書・FAX用紙にてご連絡頂きますようお願い申し上げます。

記

＜テーマ＞ 一帯一路構想が創る 新経済圏とイノベーションの拡大

■講 師： 朽木昭文氏
一帯一路日本研究センター 副代表
日本大学生物資源科学部 教授

■司 会： 篠崎 太郎
(株)現代経営技術研究所 主任研究員

●日 時： 2018年3月30日(金) 16:00～18:00

●会 場： 東京国際フォーラム G410

昨年11月30日に一帯一路日本研究センターが発足しました。今回は同センター副代表の朽木昭文氏を講師にお招きします。

氏は中国が描く今後の成長戦略の両輪は、「一帯一路イニシアティブ(BRI)」と「自由貿易試験区」であると洞察します。一帯一路建設によって投資地域における地域経済統合を推進し、自由貿易試験区によって積極的に外資と国内資本を呼び込み産業集積を加速する。この産業集積から産み出されるイノベーションが一帯一路で形成される海のシルクロードと陸のシルクロードをたどって世界に拡大する。新たな中国の成長メカニズムを氏はそのように予測しています。

例えば自由貿易試験区では、電気自動車(EV)などのエコカーの生産・販売に限って、外資メーカーが中国企業と合弁を組まなくても、全額出資による単独での中国進出を認めることが検討されています。そうすると世界最大の自動車市場である中国への外資メーカーのEV投資ラッシュが起こる可能性は高く、そこで生み出されるイノベーションが中国本土のみならず一帯一路へと拡大していくでしょう。

地球規模で始動・展開している一帯一路建設による新しい経済圏づくりの今後の展望について踏み込んだお話をうかがい、氏を囲んで日本政府、日本企業が中国の一帯一路イニシアティブ(BRI)とどう関わり、協調と競合の中で独自の機能を発揮していくべきかを検討致します。

＜会場案内＞

■東京国際フォーラム
東京都千代田区丸の内3-5-1
電話：03-5221-9040

アクセス：

- JR「東京」駅より徒歩5分
- JR「有楽町」駅より徒歩1分
- 地下鉄「有楽町」駅より徒歩1分
(地下1階コンコースにて連絡)



現研 (株)現代経営技術研究所